






浦島太郎

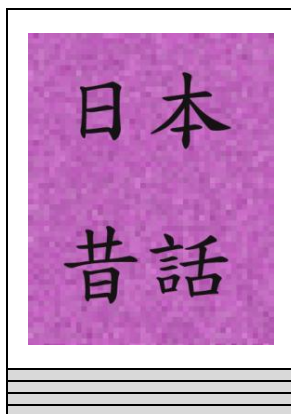
【カード例】（上段が表、下段が裏）

1	2	3	4	5
				
				

【流れ】

5枚を上から1～5の順に重ねておく。

5枚を裏向きにして取り出す。



「これからカードを使って昔話の紹介をします」

「お話は浦島太郎です」ダブルターンノーバーして、浦島カードをみせる。

「これは主役カードなので、印をつけておきましょう」

シールを取り出し、相手にサインを書いてもらう。浦島カードを裏向きに戻し、インジョグしておく。

裏にシールを貼る。2枚をトップに戻す。

「太郎は子供たちの中に入り、いじめをとめようとしてました」

右手に3枚持ち、左の2枚を1枚のようにして、右手カードの下から2枚目にいれる。このとき、アウトジョグしておく。カードは揃える。



「さらに、子供たちに注意を与え」

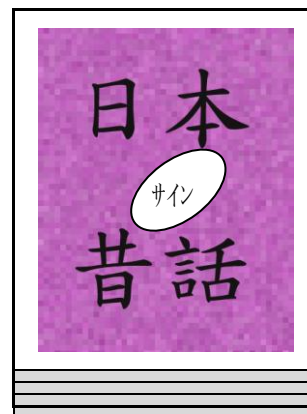
ラインナップムーブで浦島カードを取り出し、下のカード（おじいさん）は他のカードと揃えてしまう。

「子供たちを帰しました」

浦島カードをトップにおき、ボトムカードをバックルして、上4枚を1枚のようにひっくり返す。さきほどのサインが現れるので、浦島カードがひっくり返ったとしか思えない。



上の4枚を1枚のようにひっくり返す。⇒



現在の状態は

上から、左の順に並んでいる。

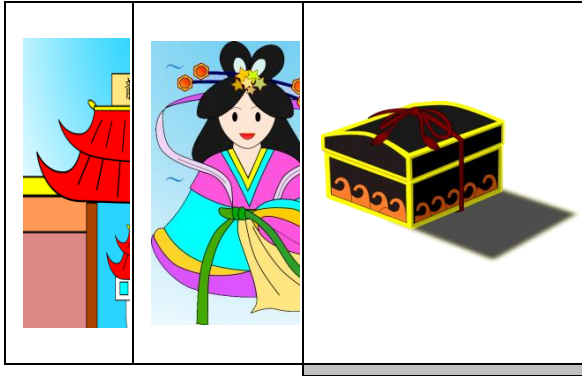


トップの裏向きのカードを指さし、「浦島太郎は助けた亀に連れられて」と言い、トップカードをずらすと、竜宮城カードが現れ、客が驚く。裏向きのカードはテーブルにおく。

「竜宮城にいきました」

フラストレーションカウントで、「竜宮城」「乙姫」「玉手箱」を見せながら、

「そして乙姫様にたいそう歓迎されました」「月日が流れ、別れするとき『けして開けてはならない』と、玉手箱をもらいました」と言う。



「竜宮城から戻ると、知り合いが一人もいません。浦島太郎が玉手箱を開けると」と言いながら、浦島カードを玉手箱カードの上でふる。

裏向きのカードを表向きにして「おじいさんになってしまいましたとさ」と言って終わる。

【リセット】

おじいさんカードをおく。

玉手箱カードをひっくり返して重ねる。

子供カードをその上におく。

残り2枚をひっくり返して、1枚ずつ重ねる。